

赤いフードをかぶり、
おばあちゃんの家まで一人でおつかいに行く女の子…。



世界中のひとがこの子のことを知っていますが、
実のところ私たちはこの子の名前も、
どうして一人でおばあちゃんのところに行くのかも、
どうして狼があんなひどいことをするのかも、
実はよくわかっていません。



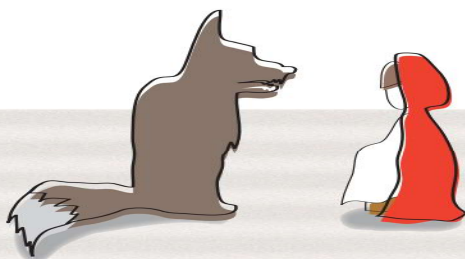
それにあの子のお母さんやお父さんのことも。
第七劇場が今回上演する「赤ずきん」は、その「？」からスタートしています。

あの子が現代に生きていたらどんな家族がいるんだろう。
狼はどんな気持ちでおばあちゃんやあの子と話をしていたんだろう。



そんな「？」を膨らませた新しい「赤ずきん」を、ぜひ家族と一緒に観てほしいと思います。
もちろん一人でも大丈夫。

大きな大人が見ても、小さな大人（子ども）が見ても、人それぞれ感じ方は違うけれど、
きっと家族や友だち、そして会ったことのない誰かのことを、
もっと優しく思えるはずです。



演出家より

構成・演出：鳴海 康平 出演：木母 千尋 小菅 紘史 三浦 真樹 ほか

第七劇場（だいななげきじょう）

1999年、早稲田大学在学中の演出家鳴海康平と数名の俳優によって設立。古典戯曲を主に上演し、身体性確かな俳優のパフォーマンス、美しい空間構成によるドラマと普遍性が、日本国内およびドイツ、韓国で高く評価される。国境を越えることができるプロダクションをポリシーに作品を制作し、日本国内各地、海外で広く活動。これまで国内20都市、海外4ヶ国7都市（フランス・ドイツ・韓国・台湾）で作品が上演される。2014年、三重県津市美里町に拠点を移設。2017年合同会社として法人化。



鳴海康平（なるみこうへい）

第七劇場主宰、演出家。1979年北海道紋別市生まれ。三重在住。人間の普遍性を抽出し、時代や国を問わず人間が抱える豊かさや孤独を示す演出や、日本の伝統芸能の持つ力強さと現代的な身体性が共存するパフォーマンス、場所の特徴を活かした美しい空間構成で高い評価を得る。演出以外にも、フェスティバルディレクターやアドバイザー、ワークショップ、小学校や早稲田大学などに特別講師として招かれるなど、教育・育成活動も行う。

チケットのお申込み



NPO法人子どもコミュニティネットひろしま
(10:00~17:00 日曜月曜祝日休み)

〒733-0011 広島市西区横川町 2-3-1 川崎ビル
<http://www.kodomo-net.jp>
郵便振替口座 01310-7-39706

お電話、FAX、メールにて受付しております。お申込みの際には次の項目をお伝えください。

①お名前 ②住所 ③電話番号 ④チケットの種類と枚数

電話：082-231-8015 FAX：082-231-8014 メール：info@kodomo-net.jp

生の舞台の感動を
子どもたちに届けたい！
かつては子どもだった
大人たちへも・・・

チケットのお申込みは
こちらから



<http://www.kodomo-net.jp/20191130.html>

アクセス

会場／広島市東区民文化センター
〒732-0055 広島市東区東蟹屋町10番31号
(開館時間 9:00~21:00 月曜休館、祝日は開館)

- 徒歩…JR広島駅新幹線口より東へ約900m(約10分)
※線路沿いの道をお通りください
- 広電バス・広島駅経由
県庁～府中方面(2番表示のバス)
「東区役所前」バス停下車すぐ



■主催 NPO 法人子どもコミュニティネットひろしま／広島市東区民文化センター

■後援 広島市教育委員会／中国新聞社／中国放送／広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／ちゅピ COM ひろしま／FM ちゅーピー 76.6MHz